朝日寺だより

発行者　若松隆英
　　総代会
印刷者　奥山印刷

新年を迎えて

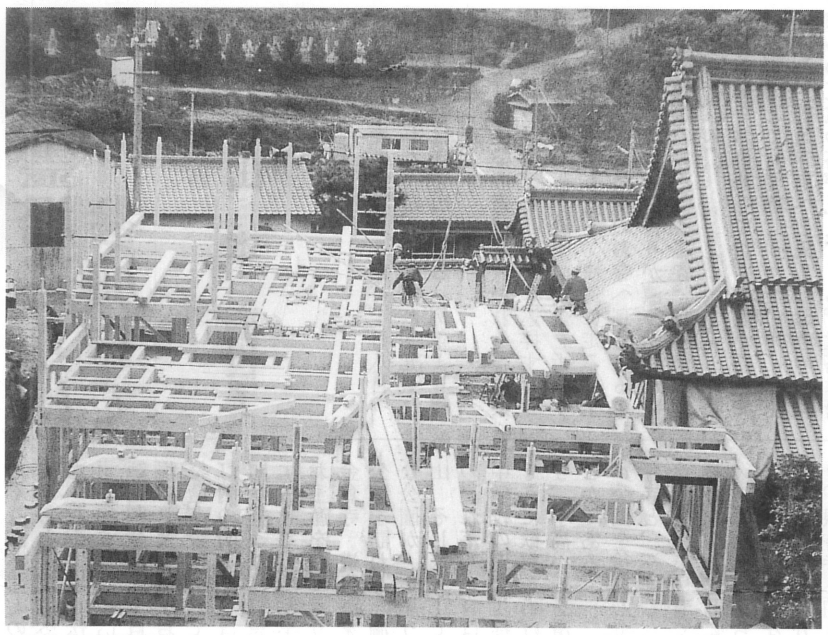
住職　若松隆英

明けましてお目出とうございます。皆様、良いお正月をお迎えの事と思います。昨年三月大松建設と一億二千万円（内一億円は住職負担）で契約した庫裡の新築ですが、六月に旧庫裡の取り壊し、七月に裏山、法面、裏庭の一部手直しを経て、七月十八日に地鎮祭をとりおこないました。さらに基礎工事を経て十二月十四日には上棟式を、寺方、設計事務所、業者、総代の方々の参加のもと執り行ないました。今年一杯には、ほぼ出来上がると思っております。それが済みますと客殿西に物置、便所を作る工事が始まります。これをもって今まで続いてきた朝日寺の改修も一段落となります。

さて、私事ですが、昨年十月には入院を経験しました。幸い二週間で退院出来ましたが、四十代の最後を病院で過ごすはめになりました。人生の節目だったのでしょうか。今年は五十代、新しい人生の始まりとして、自分に与えられた一生を、精一杯生かして、役目をはたしていきたいと思っております。

今年は千九百年代最後の年ですが、世は不況不況で暗い事ばかりです。でも、まだまだ社会のせいだけにしたり、人にばっかり頼ったりという面も目立ちます。自分が地域に、社会に、ささいな事でも出来る事をしていく事が世の中全体を明るくする事に通じるのではないでしょうか。

合掌



建設中の新庫裡

年頭にあたって

総代長　島岡篤

明けましてお目出とうございます。謹しんで新年のご挨拶を申し上げます。平素は何かとご協力をいただきましてありがとうございます。厚くお礼を申し上げます。檀家の皆さんには五年計画で寄附のご無理をお願いしておりましたが、昨年で終了いたしました。ありがとうございました。お陰様で計画致しておりました本堂、位牌堂そして裏山の整備も終りました。昨年から住職さんと協議しておりました老朽建物の移転場所は客殿の西側へ下をおろし便所（座敷からゆく便所・下の参道から入る便所）を造る、そして残った場所を物置にすると云う話が決りました。

皆さんもご承知の方が多いと思いますが、客殿の東側の建物を全部解体し庫裡の改修にかかりました。去る十二月十四日上棟式も終り本格的な工事に入っております。

さて、五月十二日の一日巡りは岡山県立博物館（朝日寺の宝物弘法大師一代記）を見学、後楽園、閑谷学校、松本寺等を巡る旅でしたが、一一六名と云う大勢の参加者で、バス三台の賑やかな一日旅行でした。十月八、九日と第四回の最後の四国巡りも香川県の十四ヶ寺でしたが、天気もよく四十五名の参加者で無事終了致しました。平成十一年の計画では三月半ば頃、高野山参り、五月には一日旅行、十月には四国巡りをと考えております。総代会といたしましても、便所、物置の移転、周囲の片付け等色々細かい事があると思います。

寺の維持管理につきましては、尚一層努力しなければと総代一同頑張る所存でございます。今後共宜しくご協力下さいます様、宜しくお願い申し上げます。最後になりましたが皆様のご健康とご多幸を祈念致しましてご挨拶と致します。

ご挨拶

密教婦人会々長　胤草小夜子

明けましてお目出度う御座居ます。

皆様御家族お揃いで新年をお迎えの事と思います。日頃は密教婦人部の方々には大変お世話になり、御協力御支援をたまわり何時も感謝致して居ります。五月八日の花祭りには、大勢の方々のお参りを頂き、お供を頂き有り難う御座居ました。紙上をかりましてお礼を申し上げます。さて昨年を振りかえって見ますと、希望に満ちて新しい年を迎えたのですが、とてもいい年ではなかった様に思われます。世の中はますます不況におち入り史上最低ののびとか。又、東北地方へは二回も台風がおそい、大雨で稲作も流され、野菜も不作になり、又、瀬戸内地方も夏の猛暑、又、九月末より十月にかけての長雨とで稲も倒伏し、野菜も不作になり本当に悪い年でした。でも一つ喜ばしい事には、お寺様の新居の新築です。何百年もの古い長屋、居間などがこわされ、立派な住居が出来る事は大変喜こばしい事で、二年後には立派な住居が出来るでしょう。楽しみです。

それから毎年の事ですが、今年も御詠歌の中国大会が、鳥取県の羽合温泉で有りました。朝日寺からも十六名で参加しました。今年は参加団体が少く、三四団体でした。それでも皆さんよく頑張られ、個人一と団体二が入賞を頂きました。特に教師組の方々は三位入賞となり、大変立派な成績を納められました。紙上をかりましてお知らせ致しておきます。お目出度う御座居ました。話が後先となりますが、密教婦人部の事ですが、去る十一月二十日和気の大中山の観音院におきまして、備前地方密教婦人協議会が発足し、朝日寺より三名出席致しました。密教婦人部が出来ていないお寺も有るとかで先ずは十一ヶ寺で始りまして、「会長、副会長、専門部長、会計、監査」の常任委員会で出発し、部も、浄化奉仕指導部、調査情報指導部、研修視察指導部の三部から成り立ち、其の内の一つ調査指導部の大役を受けて来ました。浅学非才の私に出来るのだろうかと、日夜苦しんで、おる次第です。どうか皆様の御支援をよろしくお願い致します。

それからこれは私の個人の事ですが、去る十一月十三日より十七日まで庄田の方ばかり七名で、タイのバンコク、シンガポールへ旅行した時の事を少し書かせて頂きます。三年前より一度行って見たい夢の国でした。やっと昨年実現し、胸をはずませて、先ずバンコクへ着き、到着したのは夕暮で、すぐホテルへ直行でした。時差は日本より二時間遅れでした。一日目の観光は、舟で水上マーケット先で驚いた事には、水のきたない事。黒いドロドロの水で、異臭が鼻をつき、日本の下水の中で生活している様でした。川端の水の中へ杭を打ち、其の上に小屋を立て、生活し、観光船が来たら、小さな小舟をあやつり、物売にきて、生計を営んでいるらしく、日本より四十年位遅れているとか、本当に想像をぜっする物が有りました。上陸して、お寺巡りをしたのですが、暁の寺、エメラルド寺院、王宮、涅槃仏寺院と見物す。どのお寺も立派な建物で、タイは台風も、地震もないので、何十mもの塔でも、全部レンガを積み重ねて作り、其の上に、陶器を小さく、モザイクに切り三cm位のかけらを色んな色に組合せ、何億枚もを国民の手で、年月をかけて作り上げたそうで、目を見張る物でした。

佛様は全部金箔を張りつめ、本当に見事でした。涅槃仏寺院のおしゃか様の涅槃像も横たえられた長さが四六mとか全部金箔で大変美しい物でした。

二日間のバンコクの旅が終り、又飛行機でシンガポールへ二時間の飛行で、夜九時頃着き、食事をとり、又深夜まで観光をす。リンタクへ一人づつ乗る「自転車のヘリへ座席を作り」それを一人でふんで行ってくれる。インド人村それはインド人ばかりどこへ行っても、何万人と云う人出だった。丁度クリスマスツリーがかざられ、四十分程、夜景を楽しむ。其の後は又舟に乗りシンガポールの夜景を楽しむ。翌日は市内観光、植物園へ、ランの花が自然に咲きほこり大変美しかった。夜になり、ナイトサファリーに行き、夜行性の動物を見て、深夜機上の人となり七時間で無事帰国。大変楽しい旅でした。

ごく短かく旅の思い出を書かせて頂き、失礼致しました。最後になりましたが、十一年度は皆様の幸多かれの年と期待し、御健康をお祈りしつつ御挨拶とさせて頂きます。

合掌

御詠歌日記

尻海　水野幸子

金剛流行者先後箴

信修は讃歌の先　礼拝は供養の後

明けましてお目出度うございます。謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

前書致しましたお言葉は、金剛流御詠歌の流祖曽我部俊雄大和尚様の御教えでございます。私達は此の御教えに少しでも添いたいと願い日々精進致して居ります。お稽古致します時も必ずお唱えして始めます。

一年の御詠歌日記を、開いて見ました。

一月十五日、お砂踏みの行事。五月八日、花祭り、阿形先生の法話、午後からはユーモアのあるわかり安い御詠歌講習会。

六月十六日、高野山巡回講習会、岡山山佐、詠監、下村先生。七月二十日、よみあげ法要。九月十日、備前地方本部大会、朝日寺支部からは十八名の方が参加致しました。優秀賞、特別賞、努力賞、等々沢山の賞を戴きました。

十一月五日、六日、第二十三回中国ブロック奉詠舞大会、鳥取県羽合町、ハワイ、アロハホールで開催されました。朝日寺支部から十六名の方が参加致しました。何時もより出場者が少ないと聞いて居ましたが、広い会場はほとんど埋られて居りました。出場者の歌声鈴鉦の音が、会場一ぱいに響いて此の一体となった和のひろがりが、詠歌道の行者としての幸せをひしひしと感じさせられます。

御住職の大奥様、小川様、金塚様、私の四人で団体の部へ出場致しました。十年位前になるでしょうか、高野山全国大会へ参加させて戴きました。〝影向〟と云う曲をお唱え致しました。津守先生のお友達の先生が、〝備前は上手でもなし、下手でもなし、それなりにやっとる〟とおっしゃったと聞きました。

詠歌奉詠者の心得、の中に、南無大師おがむ心そのままを、うたう詠歌は眞の御詠歌、の一節がございます。勉強も足りませず、唯唯勢いだけがあった様に思われます。

此度〝影向〟をもう一度お勉強をして、真心のこもった有難いお唱えが出来たらと願い乍ら一生懸命、お稽古に励みました。落付いて壇上に上った積りですが、時間がたつにつれてガタガタと震えて居りました。

今大会の個人の部で、山内様、団体の部で二組が入賞致しました。朝日寺支部も毎回、何組か賞を戴きます。皆様の精進の賜でございまして、大変喜しい事でございます。

大奥様にはお寺の大改築のお忙しい中を、大会に向けて四組のお稽古を、いつもの事乍ら献身的に支えて下さいました。有難うございました。感謝で一ぱいでございます。

本年も皆様と仲よく、楽しくお稽古に励みこうした御縁を大切に、御先祖の供養、家族の倖せ、健康を願い、一日一日を大事に過し度いと念じて居ります。

合掌